

## 第 91 回番組審議委員会議事録

日時：令和 3 年 3 月 17 日（水）13 時 30 分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原 2 丁目 10 番 20 号）

1. 委員総数 7 名
2. 出席委員数 5 名
3. 出席委員の氏名  
遠藤芳幸 委員長・和久田恵子 副委員・稲葉美津江 副委員  
青木洋一 委員・土橋矢兼 委員（順不同）
4. 放送事業者出席者名  
山本茂 統括部長 他 1 名

遠藤芳幸委員長：ごあいさつ

今日も進行を務めさせていただきます。よろしくお願い致します。

小沢常務取締役：ごあいさつ

皆様、今日もお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

今年度はコロナの関係で 9 月から番組審議委員会が始まり、今日が今年度最後の 6 回目です。次回は 5 月 19 日水曜日ですのでよろしくお願い致します。

当社は来月で決算ですが、今年度はコロナの関係で厳しい面もありましたが、最終的には利益が出せそうです。こんな時期でも利益が出せるというのは、みなさんのご協力あってのことだと感謝しております。今日はコロナ対策で座席が限られていますので冒頭の挨拶のみで失礼致します。

### 前回のご報告

山本：前回、エフエリアで会いましょうをご審議いただきました。詳細はラジオエフ公式HPからご覧いただけます。

### 番組審議

- ・テーマ 番組「ときめき倶楽部」
- ・放送日時 2021 年 2 月 26 日（金）  
（毎週金曜日 11：00～11：40 OA 生放送）
- ・出演 ナビゲーター：片平有美
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今回の審議番組は以前にも一度ご審議いただいたことがある「ときめき倶楽部」という毎週金曜日の 11 時から放送されている 40 分番組をダイジェストでお聴きいただきます。基本的には高齢者、介護をされている方向けの情報番組となっています。現代の高齢化社会で有益な情報を届けることを目的としています。出演は片平有美という女性です。今日は 2 月 26 日に放送された回をお聴きいただきたいと思います。

約 15 分後

山本：今回 40 分番組をダイジェストでお聴きいただきました。やはり高齢者向けの番組は今後増えていくことが想定されますし、多岐にわたる情報を提供していかなくてはいけないと思っていますので、みなさんの意見やアイデアをいただければと思います。

青木委員：個人的にはなかなかこの時間には聴かないのですが、こういう内容は必要な情報だと思います。実際に片足立ち体操をやっている人はいるのでしょうか？

山本：ときめき倶楽部の前身にあたる高齢者向けの番組で出演されていた元医者が、趣味で片足立ち体操の曲を作ってくださいました。当初はご希望があれば CD をお配りしていました。番組が始まって 10 年以上経っていますが、片足立ち体操はこの番組の名物的コーナーになっています。

やはり筋力が弱って転倒して骨折するというパターンの高齢者が多いので、お医者さんも片足立ちが有効だということでこの番組では推奨しています。

青木委員：片足立ち体操をやっている時の画が想像できなかつたので補足があるとイメージが出来て良いと思います。そうすれば自分の母にも勧めてみようかなという風になるかと思っています。

和久田副委員：ナレーションがゆっくり話していて聴きやすかったです。ターゲットに合ったしゃべり方をされていると思いました。終活というと重たく感じるテーマで、介護する側からするとなかなか自分の親に勧めにくい部分がありますが、上手に説明をされていたと思います。一点、

エンディングノートをどこでもらえるか気になっていたところ最後に案内があったので、最後だけではなく途中にも案内を入れるともっと分かりやすかったと思います。

また、童謡唱歌のコーナーは子どもの声で歌っているのが良かったです。

介護川柳コーナーも、ナレーター感想が入っているのが良かったです。ナレーション原稿がしっかり作られていると感じました。片足立ち体操については、青木さんと同じようにもう少し説明があると分かりやすいと思いました。

遠藤委員長：この番組では感染症のことなどについても取り上げることがあるそうですが、今はコロナの情報もだいぶはっきり分かってきたので、今のご時世にあったテーマを取り上げるのもいいのではないかと思います。実際にお年寄りにはコロナも風邪も混同している場合が多いです。

ところで富士宮市にはエンディングノートはあるのでしょうか？

稲葉副委員：富士宮市にはありません。

土橋委員：この番組は実際に施設などで流しているのでしょうか？

山本：当初は施設に出向いて取材もしていましたが、長年やっている番組なので、最近は取材に行くことは減ったそうです。ただ、今後また外取材もやる可能性はあると思います。

土橋委員：富士市独自のエンディングノートが市販されている物とどういう違いがあるのか説明があると手に取りやすいと思います。

介護川柳については、高齢者は川柳が好きな方が多いので、介護のテーマに関わらず募集すればリスナーも参加しやすいと思います。

和久田副委員：今施設に入っている人というより、私たち位の年齢の人にとっても必要な情報だと思います。

稲葉副委員：ナビゲーターがゆっくり話していて聴きやすかったですが、どこで手に入るかの情報は、1回だと聴き逃してしまう可能性もあるので、繰り返して言うか、更にゆっくり話すといいと思いました。

青木委員：高齢者だけではなくやはり自分ごとだと思いました。

私の写真館では遺影用の撮影もしますが、そういったものを撮る人の方が長生きしますよとお話をしています。そういうことをすることで長生きをするように気を遣うようになるもの事実です。

稲葉副委員：あとは、片足立ち体操で足を変える1分30秒というタイミングを、音楽が始まる前に説明をすると良いと思います。いつ変えるか分からずにやるのは体感的に長く感じると思います。

青木委員：私も、片足立ち体操について補足がもう少しあるといいと思いました。

稲葉副委員：この番組は若い人が聴いたら話題的にあまり関心がないことだと思いますが、片足立ち体操にしても、若い人は「片足立ちにさらに〇〇をしましょう」というような感じで、どの年齢の人も参加できるようにすればより良いと思いました。

和久田副委員：遺影は、私はスタジオで撮った家族写真を使ってもらうように、4年に1回のペースで撮ってもらい、その都度自分の子供にこれを遺影にして欲しいと伝えています。この審議会の中で結構遺影の話も出たので、この番組でもそういった話題を入れるのもいいかもしれません。

土橋委員：介護や終活にまつわる、「こういう時はこうしておいた方が良かった」というような体験談やワンポイントアドバイスのようなものを盛り込むといいですね。

遠藤委員長：ということで今日はこのくらいでしょうか。

山本：45分経ちましたのでここで終わりにしたいと思います。みなさんの貴重なご意見ありがとうございました。次回は5月19日水曜日の午後1時半からです。ありがとうございました。